

生物資源科学部研究セミナー

Titles and Reporters of Seminar

平成 13 年度から、生物資源科学部学術委員会の主催により、「生物資源科学部研究セミナー」が開始された。この研究セミナーによって、生物資源科学部を構成する 5 学科と附属生物資源教育研究センターの研究面での緊密な融合、そして異なる専門分野間にまたがる学際的研究が進むことが期待されている。以下は、平成 14 年 9 月 30 日までの実施状況である。

第 1 回（平成 14 年 3 月 6 日）

講演 1. 「形態・生態・DNA 分析によるサクラなど有用広葉樹の遺伝的多様性の調査および有用木の大量増殖」(農業生産学科・生態環境科学科・生物科学科：細木，片桐，川口，杵村)

講演 2. 「栽培環境条件が津田カブの育成 - 特にアントシアニン生成 - に及ぼす影響」(附属生物資源教育研究センター・農業生産学科：伴・浅尾・大西)

第 2 回（平成 14 年 5 月 29 日）

講演 1. 「商用周波数電磁界による植物の成長制御に関する基礎研究」(地域開発学科：谷野)

講演 2. 「環境紫外線がイネごま葉枯病菌のメラニン合成遺伝子の発現に及ぼす影響」(生態環境科学科：木原)

講演 3. 「ユーグレナアスコルピン酸ペルオキシダーゼの分子特性および光適応時の発現調節機構解明」(生命工学科：石川)

講演 4. 「島根県中山間地域の温泉炭酸ガス源の農業生産への利用と地球環境変動アセスメントへの応用」(農業生産学科・生態環境科学科：足立・小林・増永・宮永)

第 3 回（平成 14 年 6 月 26 日）

講演 1. 「遺伝子組替えイネを用いた γ -アミノ酪酸 (GABA) 細胞内含有の改変と植物分子育種への応用」(生物科学科：赤間)

講演 2. 「宍道湖・中海における原生動物の分布調査」(生物科学科：石田)

講演 3. 「スカシユリ花卉の着色を調節する遺伝子のクローニングと発現解析」(農業生産学科：中務)

講演 4. 「nACh 受容体サブタイプ選択的アゴニスト創薬を指向したエピバチジン誘導体の分子設計と合成」(生命工学科：池田)

講演 5. 「レーザー測距計を用いた森林構造鉛直分布の推定方法の確立」(附属生物資源教育研究センター：橋本・寺田)